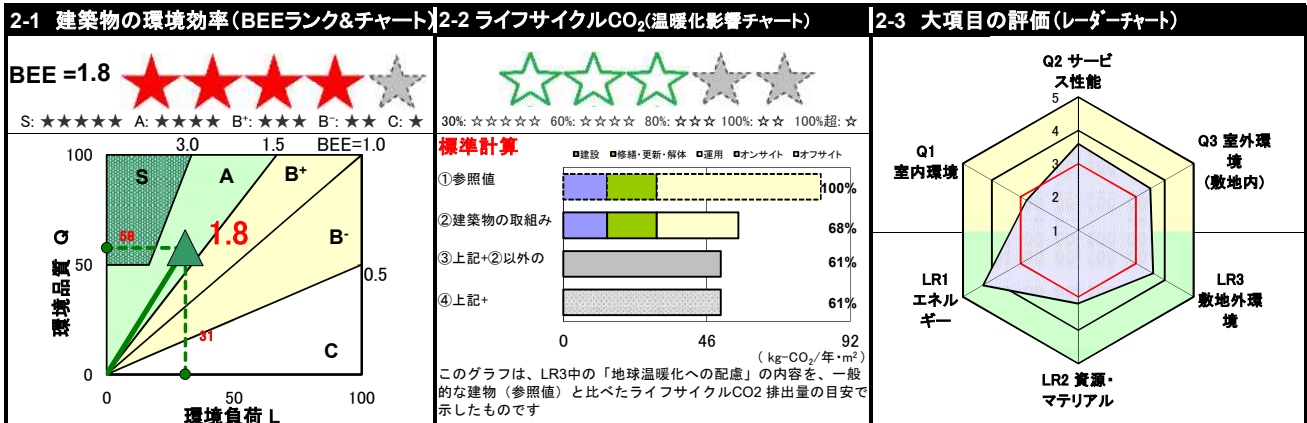
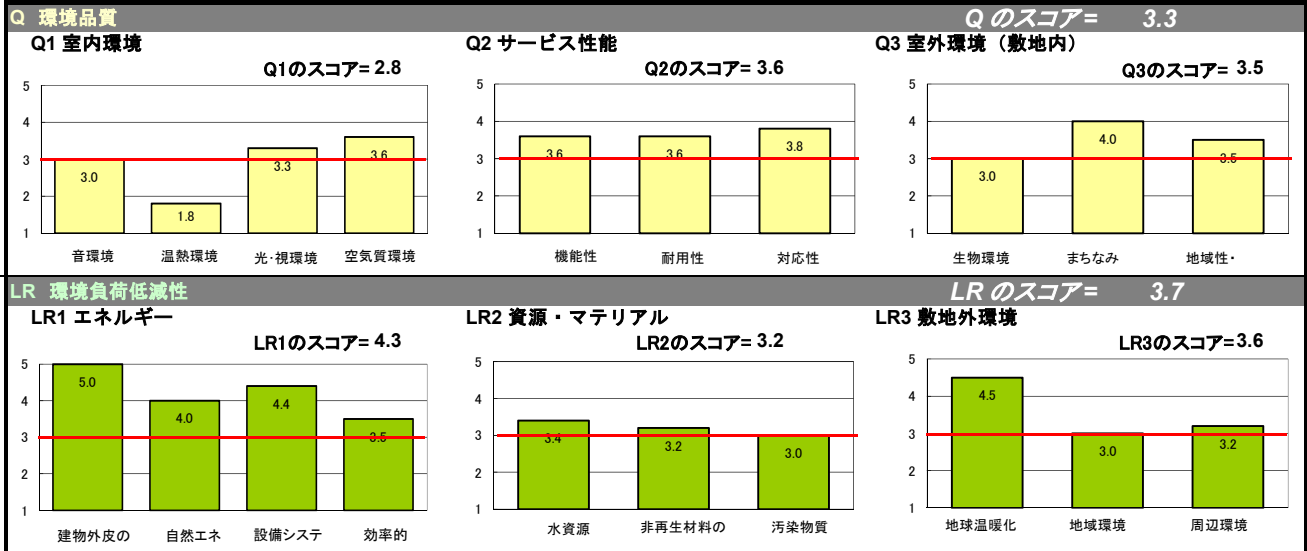


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)茅ヶ崎市保健所・保健センター	階数	地上4F
建設地	神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎三丁目994番4	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	154 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,960 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年11月 予定	評価の実施日	2024年7月31日
敷地面積	3,307 m ²	作成者	有限会社小泉アトリエ級建築士事務所
建築面積	1,421 m ²	確認日	2024年7月31日
延床面積	4,499 m ²	確認者	有限会社小泉アトリエ級建築士事務所



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合	その他
健診部門、検査部門、事務機能が複合化された建築として、障がいや生活保護など様々な背景を持つ利用者が、あまねく利用しやすい施設とする。 また景観向上に資する特徴的な外観を持たせ、内部での人々の活動を通りに見せていくことで、市民の記憶に残り、親しみを感じられる建築とする。	-
Q1 室内環境 日常的な職員の負担の軽減につながる効率的な動線計画・平面ゾーニングとするとともに、季節を問わず快適な執務環境を担保することのできる建築とする。	Q2 サービス性能 浸水対策として主機能を上階に計画し、高齢者やベビーカーでもアクセスしやすいように、1-2Fをつなぐスロープを設けた。また、十分な階高を確保することで柔軟に将来対応できる計画とした。
LR1 エネルギー ZEB readyを取得する水準のエネルギー削減をする計画とした。また、通風塔(ソーラーチムニー)を設けることで重力換気を促進するとともに、冬季は通風塔上部の温まった空気を再利用するシステムを計画した。	LR2 資源・マテリアル 自動水栓や擬音装置付き便器とすることで節水に努める計画とした。また、3、4Fの執務ゾーンはほぼ全ての箇所をOAフロアまたは乾式二重床の再生可能なユニットとすることで、解体時におけるリサイクルを促進するような配慮を行った。
	Q3 室外環境 (敷地内) 緑地を十分に確保するとともに、大きな軒下空間を提供することで歩行者のアメニティを高める計画とした。また植栽計画などは茅ヶ崎市景観まちづくり審議会に諮って設計を進めた。
	LR3 敷地外環境 雨水浸透槽の計画により敷地内の雨水を全浸透し、敷地外に対する雨水排水負荷低減を図った。また、茅ヶ崎市まちづくり条例に定める駐車台数・駐輪台数を上回る台数を計画することで、敷地外の交通負荷抑制に資する計画とした。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される